

徳島地方気象台長からのごあいさつ

徳島地方気象台ホームページをご覧いただきありがとうございます。

穏やかな天候で新しい年が始まりました。

昨年を振り返りますと、6月には大阪北部の地震で、「平成30年7月豪雨」では西日本を中心に記録的な大雨となり、各地で甚大な被害が発生しました。

8月から9月にかけては相次ぐ台風の襲来があり、徳島県にも連続して2つの台風が上陸して被害をもたらしました。

さらに、9月の「北海道胆振東部地震」により甚大な被害が発生したことは記憶に新しいところです。

このように自然災害は容赦なく猛威をふるい、いつ・どこで大災害が起きるかわからないという全く予断を許さない状況となっています。

こうした中、気象台では「大災害は必ず発生する」との意識を社会全体で共有し、これに備える「防災意識社会」への転換に力を注いでいるところです。

地震や津波、大雨による災害をはじめとする自然災害に的確に対応していくためには、地域の目線に立って自治体や住民の皆様により利用しやすい防災情報の提供に努めるとともに、その利用方法などを知っていただいて、いざというときに身を守っていただけるよう、そして地域の防災力向上に貢献できるよう取り組んでいるところです。

徳島県においても、いつ豪雨や大地震が起きても不思議ではありません。これら自然災害からご自身や大切なご家族の命を守るためには、日頃からの備えが重要です。

ご自身の居所はどのような災害の危険性があるのか、避難のタイミングや避難所までの経路など、災害に応じた安全行動をご家庭やご近所で話し合っておくことも大事です。

この新しい年が、災害のない平穏な一年となることを心よりお祈り申し上げます。

平成31年 1月

徳島地方気象台長 天満 仁

